



| | |
|------------------|---|
| Title | 国民社会の研究 第6巻 |
| Author(s) | 鈴木, 栄太郎 |
| Issue Date | 1960-04-30 |
| Doc URL | http://hdl.handle.net/2115/77633 |
| Type | manuscript |
| Note | 『鈴木栄太郎著作集7(国民社会学原理ノート)』を出版した際のソースとなった原稿である(同書内での言及による)。 |
| File Information | 1009_016.pdf |



[Instructions for use](#)

6

9

MADE BY YAMATO NOTE CO., LTD.
USED SUPERFINE FOOLSCAP MANUFACTURED IN JAPAN

NOTE BOOK

國民生活の研究

第六卷

昭和十五年四月十日

D
W
A
4

YAMATO NOTE

6

前巻(一)

口家統治の由來の最も記号

一人の人の意志が人民の意志を代表し

相互知同体制は異質の協力が

祖法の名としての口民

口民統治は著しく同一範囲内

地方自治体は完全な口民統治

口民統治の構成要素

39 31 36 34 30 29 23 16 8

二つの口民群に分れし所。口民は政

治に在りしにつけて古語にあり、民物は文

化に結的野性や體質的野性びつけたる者なり。その意味か

ら日本人は體質と文化の同類に

有るが所也によつてアノテラ者ヲアノテラ

元著である。

意識を同じとす。吾も亦、おれは

いふ。口民か口民としての意識なき

不的確であるが、口民は統治を初め

時終しおけれはなれば服従しおければ

狐の群に生れず。か殺てあるかである。

口民は皆統治に服従せざるを得ない

1

ところが、あつうとし、其の良族か之とて
あつうとせし、そんな事には數回ない。

身口民と其他口民とは、法律上の境
新義務の世とせば全く別世界に居
す。此の、屬し、獸味方の別になす。
故之の時厚は全く明確と二重の藉は
考練す。限界は甚だ解明下す。
常々ニ志担下す。

口境の内側での社会的交流は激甚
とし口境を越えては交流は全く絶
して居る。口家と其方の構造下す。
以上何時の時代も其下あつた。

あろろから、~~因~~人同の口籍、即ち力
への時、~~何~~何何の時、~~何~~何何の時、~~何~~何何の時、
た。けれども口籍の録は、~~何~~何何の時、
昔に變化して行くのに、~~何~~何何の時、
~~何~~何何の時、~~何~~何何の時、~~何~~何何の時、
然し何何の時、~~何~~何何の時、
~~何~~何何の時、~~何~~何何の時、
の内に、~~何~~何何の時、
民は絶えず同一文化の共同運載者
となる。けれども、~~何~~何何の時、
の内、~~何~~何何の時、
又はその子孫、~~何~~何何の時、

い。民族は同じである。口宗は修
成しよる。其の由は、口宗
に修成す。人々は其の子弟が
其の共同生活を形成し、其の
である。

文化新論

口宗元々は何よりも政治的な交流の
封鎖的圏を形成して、其のうちに
最良の業を成し、其の人類の中に
存す。最大の政治的権限を有し、
此権限を形成す。力は口宗の政治
力である。然し口宗の政治力を増進した
ものは終末兵力であった。世界には大

各種の国家が存在し、国家毎に社会
主義の封建圏を形成しつつあるが、国家の
本質は是れにある。国家の教の大小によ
り、領土の大小により、文化の高
さにより、場合により、兵力の大小によ
り、場合が多かる。国家は武力の組織体
であるからである。国家統治の主権の発
はつては、国家内最大の武力を有する者、
国家は国民に統治権を有する。国家は武力によるので
あり、国家の性質もその武力による
である。国家は力の存在である。
国家の時代も、国家は国民に統治権を
有する。

といふたうと一致するものがある。高田
 博士は『^{ルツ}新編』を著述して丹波より、今の朝
 鮮^{ルツ}と^{ルツ}標土^{ルツ}は^{ルツ}口^{ルツ}氏^{ルツ}祀^{ルツ}原^{ルツ}略^{ルツ}日^{ルツ}に^{ルツ}近^{ルツ}い
 るといふところか。

□宗統治の必要性の最も根柢

への務を武力や奸智の總感所として

の□宗統治は尤もと合理的な組織に改

めし得るか出来ておらずとは考へるべき

合理化した組織に於て経済組織は

どんなものにならなくてはなるか

□宗が教習や学塾や芸術なども

国がするの任明しかに行かぬが望

□宗は□民衆生活の平妥の維持支

の爲の組織であるべきである。

宗務は□内の学務宗家の組合を組織

化して最も合理的な学務活動を保

持するべきである。教習は余り長

教育界の組合による運営は不可
である。教育の内容及他者の容
不可受てなる。其^や統^理し其^の統^理の
的^の本^の組合による研究を他^の推^進され
他の人への干渉不可受てなるとし
た。此は行政の。経済も同様なる
種の同業組合の聯合会による推
進は統制する方がない。ね。
交通通信運輸も同様の聯合会
による運営も考へ得る。これはたゞけ
と。これは口民能なる。自任の経営
とするのが望ましい。

行政治安は口民衆を自作の手によつて
なす可きであるか、こゝを問は下す。

兵器を流さぬ者は没した者を
屈服する力を身につけよと云ふに同
思ふ。昔に逆はは難し。此の困難
は火をぬらさう、故に兵器を流
す者は常にしつと大きな兵器を
自に可材す。子を志せぬ者た。

最も強かな兵器の可材が統治
の器為位下す。

口民衆を自作が兵器を流さぬ者の
者、没す上と云ふ時の口民衆自

債とは、二枚の紙幣をばまうか、五

枚とはなく、民衆的の支配者である。

その中が統治者である。その統治の

組織と活動が、口袋である。

然し民衆的の権者の具体的なもの

を如何にして、法律組織を以て決する

可であるか。各種の紙幣の最高

位の地位にあるもの。連合協力の

よって組織したるもの。

今の内閣は、各者の統治の連合に

よるものであるから、結局は、組織

最高権者の連合を有して、其の

と、それによつて作らるゝと考へるゝの
は当然である。けれども、こゝ、大なる
相違がある。

今の國體は皆職業政治家を
色々の者により向けたたけのもの
である。この者は、主行開く程の
ソフトさをもつた政治家である。
教育の経験に乏しく、おけるおける

る教育の組合の首領を教育に
ついつは何一つ経験も誠意もない
政治家が、新國體にめはつた。たつた
文部大臣を、根本は、
文部大臣を、根本は、

田舎の

教育の事は教育の経験者に

経験の事は時代の経験者に

全体的統制の地味を占める

が合理的である素人の大層が

持つ何の発意の力もあり得るか

としてその方面の最高の権威者

かその方面の全体的統制を行わ

るにた。権を動かす最も合理的

である。立してかくの如き、各級の

所の最高権威者即ち組合連合会

の層の如き人の連合体か内閣

とあり、そのゆゑより選進せられたる
が口采最良の王権者となす持
原組織が存せし、
即ち各方の最良の權威を以て
乙組織と稱し、内閣と云ふは
選進せられたる王権者の口采こそ
合理的の口采である。
職業的な政治家があることは
に世考はいつた下たるも、
とす。王族を廢止し、
には必ずしも、
廢止である。

各社

口民記号誌

組合の連合体としての中央

消総協を以て口民と呼ぶなら

之れが最も合理的な口民である

之れは採福を以て統治武力を必要

とせぬ政治である。

家と國

支那の古い言葉であるが、家治國之基
と云ふ様な表現である。家母が治まると

國が治まると云ふ事、と云ふのである。

ここでは家族といふは元來夫が基本的

な社会的地位と思はれて居るのである。

家族は先づ親を中心とする。家と國の

變遷は、先づ夫は、果ては、先づ夫は、先づ夫

二次的と云ふのである。これが、先づ夫

先づ夫は、先づ夫は、先づ夫は、先づ夫は、先づ夫

は世の治まると云ふ事、と云ふのである。他人の

自由が擴大すれば、先づ夫は、先づ夫は、先づ夫は

申すのである。果ては、先づ夫は、先づ夫は、先づ夫は

梯岡の如きもので、口家の経済が逆の
に、専ら自己の研鑽の様貌を、
生活協力の必要もなくある。協力が
うんと乱れた時も、高橋は先方へ
ある。いつも存在しただけの生活なりのほ
うと口家も。

家は夫婦の悦の結晶、口はカルよ
と配分付。

口が力にさす、其配分付の身以上、世界
口家がやかたを丸く一口家によせ
る、其経済が如き。口が力にさす、支
配同付の身以上、世界の口家連合は

實際的にはあり得ない。

世界人口連合が、^{正しく}各国家

の力による支配が滑^{正しく}之をなすべし

をいぬ。カネによる支配ではなくして合議

による協力が整備されるべき。

これは長期的には人口内の同等組合

の連合体の連合組織の活動による。

人口長期的統治である。人口

がそんな段階をへて次に世界

中の人口家の連合組織が生まれる。

人口の力の支配組織である。それは

世界的協力組織を力による支配

かあり打さばかり

絶縁である。四半一〇元の世界紙幣下
あり。

「原は累年増の国債以上のものには
なくなよ。

◎戦前政治の統治機構止と

口際同に武力をすてよなら、その前

に口ぬに[◎]おけ、武力をすてよるが中

要かや。

宋が累年増の国債以上のものではない。

ある。同は家には愛文^{不平等}神帝^もも

有続し支配し口界力も増減し

たのであやろ。直家宋務^知り夫婦

家族もそんなものであつた。

情慾や不平や支配があるから愛

もある事だ。理想もあつた。合理的支配

世界には平等や情慾がないと苦ん

愛も理想もなくあつた。それとは

んが、のてあつたか。

愛も理想もなしに冷血な行きては真

の生命にゆきてはたつた。左から真実

の人は人の生活になつた。ぬきの下はな

い。けれど、情の欲もあつた以上男の

情の結合はあつた。けれど、夫婦

の結合はあつた。けれど、夫婦

と同居生活は仲間か。同士の生活は

白川村の男

又は

各同族生活に別荘としての家族の本拠がある。恐らく人は世の果てまでこの別荘を建てたのである。別荘の本拠を築くのは、
世を懐くを制する事かよである。

暴力にして知力にして人に依りての別荘は生活の便利は皆無効である。かくの如く人口の同の増安保持のための組織は、
どうしては要である。それか別荘である。

別荘は強力をかくる水を利用する。為には要を感ずるに昔に弱者もそれによつて底地を築く。為には要を感ずる。この世の果てまで別荘の存在は必要である。

予。職業的政黨家による。この生業強
く連合体の組織をとりこむ。これは
つぎの組織である。

取組むべきは、一つは、も存するもの
と認められよ。人間の一切の活動の

は、この二つは、丁度、の如くである。時代は、
見しと素を、^{ニホカ}し又存する。もの、^{ニホカ}ありき。

□衆の主権者也衆の総体(民意)は
 又は全體的に(或)機械的(或)個人に在る
 と云ふ事。而して其の機械性を

操作するものは□民の多数決の結果
 である。

□衆の意志決定

民意の衆に在る先きに合理的に
 活動して居る一々他人の成績が不大
 先きに精算する中を以て。

一人の人の意志が□民の意志を代表する
 一人か

リー下頂上合意に於けるブルジョア
 米の支配機械の下ハイ子解の習性

甲層と対米改革決定は世界

二に分けし重大な決定である。

水がソビエトの民の總會とされんを

と決定し考へるべきである。

民意の衆もその意志決定は一人

主権的地位にある人の意志による

決定される必要のある。場合に出

るものがある。或る決定の如

き重要な事柄が後継の多数

法律の才徳によつて、
感情に支配される意志による決
断は、
合理的な

法律が巨額首厚
の事は明らかなる合理的な
特に全世界の人類の運命に
大なる影響のある決断が巨額
の感情に支配される事は明か
な勅君の態度に於ては、

法律からして人の良の多寡決によつて

素。又、宗教に合理的に法を定むるの
ありき。

度世界は、若者の英雄の奮闘の奮闘
の奮闘の世多し。

人的感情を論議の広場で冷却し

正し、合理的判断に導くことこそは

此の世の最も合理的な存在は價

値がある。口際同士の如き、重大な

判断を他人の判断にまかす事は

よく、民主的でも合理的でもない。

以上層階級として、巨額層階級を

31 以上の時代の悪党の争乱の世多し

息はすものである。

ボロロの機のスライ行為に對するフルシ

の激怒は一人の判断としてほ

つゝある。けれど、口民の全流の末

判断としてほつと合理的であるが、

ボロロのスライ行為はソ聯の鉄のカーテンや

口がせりし経歴は、大々通告同然や現

在激ル進歩した兵隊を思い合せ

考へれば、ボロロの牙を水割し激怒する

の事ではなへ。フルシがフのどつた態度

一人一人の態度を、口民の態度

をなへ。 として合理的

二家の主権者や宗徴は他人の心を
動せしむ可き不仕な。總て多數決に
て行動する事か宗徴也。主権也也
宗は構城であつて人であつて仕な不致。
おはぬ謝罪す事をもする方には要ら
ずか。これにまよて悪徳の喧嘩
一幕中であら。口宗と口宗との好
にこんなヤクザの仁義の指を拵
あつては戦争は止まない。

邦之承也。血統の傳でもやれくサ
体制と承えられし大いの制用を此の
尺よ。其種落や口民派をては也、
多量の協力体制と考へし。都
てはこれたししては一日も生れを
たすい。
相互制用の全種制用は其の
世界の發展の中は全く異なるの
協力体制を有し。口民派の其の
この体制への協力のみを期待し
た。

相互制用体制は異質同の協力が
考へ起す。

これは協力の種別ある相互制用の
体制である。異質同の協力はなく、
協力の協力である。

協力の平等性を模る。生業交換
を基礎とする協力の原則。

承継の限界

「我が武力の組織体、その武力の
組織の上に統治支配の組織がある
に、我は国民に思ひのままに支配
のよきか出来よ。国民はどんな暴
も耐えなければならぬ。これと
耐え得る限界がある。その限界
を越すと反撥する。暴制
革命が起る。日本の民権
永く死線のおりくのとらう
耐えて生活して来た。国民は
「男の道」と反撥した。反撥の
が弱く、三々五々と死滅した。

自服の強弱に依りて口民か否かは
曰禁力。曰禁勅。禁令は一種の
自然の秩序で、殺されかけた蛇か蛇か帯帯かある。民を禁勅には
不テツキの先に喰いつく秩序と同一禁力は禁勅であるとは云へぬ。
ある。生理現象である。生理現象である。生理現象である。
反應である。

此を的になつて自服の強弱は昇つて

行つたけれど、結局は口民か否かは

自服の強弱で自然に禁

勅の強弱であるとは云へぬ。

禁力以外の口民は口民の反應である。

禁力以外の口民は口民の反應である。

禁力以外の口民は口民の反應である。

禁力以外の口民は口民の反應である。

禁力以外の口民は口民の反應である。

禁力以外の口民は口民の反應である。

禁力以外の口民は口民の反應である。

禁力以外の口民は口民の反應である。

それによつて口民の承継の限
今に達するまで支那の力をゆるがす
父者もしない。

いふ事では他すしし自行のめつはなく
口民のめんとして方策をきめる政治
よか、それは口民の老翁の考えと
いふことある。意見の相違である。

これでも口民は自分の方針に従つて
行ふ。それか口民の承継の限
達する。いふ事ある。武力をたのみして
口民はこれか可る。思ふのまゝの方策で
いふことある。暴初を延々革命が

おまゝ。致し方ない中である。奉迎は
 〇軍本武勇の組織である。と云うに異
 なく、御礼も奉迎である。

一九六〇、六、一九
 平安保衛隊自然成る
 の日

被統治者としての国民

国民は、政治の経済組織の中心

として、中央に集中して、強要されるべき人々

が、形成して、その政治的統一を、国民

は、主権として、法的権力が、その中心

に、政治的統一を、国民は、主権者として

の力として、政治的統一を、強要する

なく、政治的統一を、政治的権力

に、政治的統一を、政治的権力

として、政治的統一を、政治的権力

として、政治的統一を、政治的権力

として、政治的統一を、政治的権力

として、政治的統一を、政治的権力

として、政治的統一を、政治的権力

新時代は、政治的統一を、政治的権力

根據のつかず、我々の民は
統治される人々の一團として
し統治する主権の争奪が
金然同じにしない。その
的記号を去るの標本の
の。

(六月二十日)

急

中興政府の運文も地方庁では

水陸との変化は素直な旧藩時代

よしの邊業権や入身権（か）のあり

存続して片と理田である。

地方庁の記録も全部更新する。

格な政変はあり得ない政変は

中興下の變化である。口民

には属し同存ないが、口民

口民が政府に格闘する。後場の

口は新政府のあり。一変する。口民

口民の世帯にも初五水は

統治者の世帯にも何か固定して核がある

統治者世帯の核は統治交代の個性的

を初めである。

口民は常に同一の組織

政府が何を言わして行かると口民

は常に同一の人達である。政府の統治

組織は一定して片である。

口民と政府の交渉がある。口民の

域と政府の構へは変化する。口民

の組織は変化する。口民の

固定して片である。

政府は士族と業を争う。政府と

新政府のいさつ。口民の

口民と政府は大概、口民の

事務組織と交渉にととまると。地方

庁の構成員が官僚の土台である。口民

口民の世帯の個性

36

地方自治体は完全には中央自治体
自治体とある語に違わさか~~る~~地方自

治体の自主性を過~~に~~してはな~~ら~~ぬ~~自~~

治体は又美上~~に~~中央に中央統治の~~現~~

細胞である~~を~~これに強~~さ~~せ~~る~~は~~な~~ら~~ぬ~~

概~~して~~同じにして得~~る~~もの~~な~~ら~~ぬ~~

官公吏は一律である~~に~~官制上の差

別~~に~~過~~さ~~ない~~に~~。この~~の~~長は~~も~~自~~分~~

己~~の~~責任~~を~~過~~に~~する~~に~~根~~拠~~を~~よ~~す~~に~~

所~~は~~。

地方自治体は察~~し~~地方自治体の意~~は~~

を~~も~~つ~~た~~強~~靱~~な~~力~~を~~の~~ち~~か~~して~~は~~。

人民が~~承~~継~~の~~形~~に~~あ~~る~~、~~す~~な~~ら~~ば~~果~~

物や革命軍によつて、口本統治組織に不調
衝突するのほ、よしくのつて、工の民が
統治組織に口本接臨するのほ、地を
自治体の爲は、心あへて、可なり、其の小
さな、口本は、怒り、おろ、軍隊、にも
適、結、し、て、居、る、事、を、口本、民、は、余、り、驚、か
か、な、い。其、れ、が、口本、は、口本の、小、紋、人、自、身
に、余、り、驚、か、し、て、居、る、事、を、口本、民、は、余、り、驚、か

東京統治組織の活動が東京である。
東京統治組織は統治の中心機関
の組織の上に組織される。統治機
関の組織は政府と地方行政機関
より成る。統治機関は官
僚による運営される。

国民社会構成要素

国民社会の東京統治組織による

支配される。人口の上からである。

国民社会を構成する。国民は

国民とこれを統治支配しては

東京統治機関である。

東京統治機関が一人の人の名にか

いて進行される。国民の集合

は所謂主権在民と呼ばれ、民は

東京の集合して国民は統治の

中心人である。直接の国民を統

治しては、そのは宣達である。本

質は国民の内の人による統治機関